

## 日本語 109 キーボードによるアクセント記号の入力

ç	+;れ	
Ç	Shift + +;れ	
ã	*:けを押してから a	
õ	*:けを押してから u	
Ã	*:けを押してから Shift + a	
Õ	*:けを押してから Shift + u	
á	`@`を押してから a	
é	`@`を押してから e	
í	`@`を押してから i	
ó	`@`を押してから o	
ú	`@`を押してから u	
Á	`@`を押してから Shift + a	
É	`@`を押してから Shift + e	
Í	`@`を押してから Shift + i	
Ó	`@`を押してから Shift + o	
Ú	`@`を押してから Shift + u	
à	Shift + `@`を押してから a	
À	Shift + `@`を押してから Shift + a	
â	Shift + *:けを押してから a	
ê	Shift + *:けを押してから e	
ô	Shift + *:けを押してから o	
Â	Shift + *:けを押してから Shift + a	
Ê	Shift + *:けを押してから Shift + e	
Ô	Shift + *:けを押してから Shift + o	
ü	Shift + &お6おを押してから u	
1 <sup>a</sup>	IME を日本語に戻し「えー」と入力して変換	※補足「 <a href="#">序数の入力について</a> 」
1 <sup>o</sup>	IME を日本語に戻し「おー」と入力して変換	※補足「 <a href="#">序数の入力について</a> 」

## ポルトガル語キーボードレイアウト

IME をポルトガル語に切り替えた時のキーボードレイアウトはこのようになっています。  
 (キーボードの種類によって若干違いの出る場合があります)

半角/ 全角	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=	未使用	Back Space
Tab	q	w	e	r	t	y	u	i	o	p	´	[	Enter	
Caps Lock	a	s	d	f	g	h	j	k	l	ç	~	]		
Shift	z	x	c	v	b	n	m	,	.	-	/	Shift		

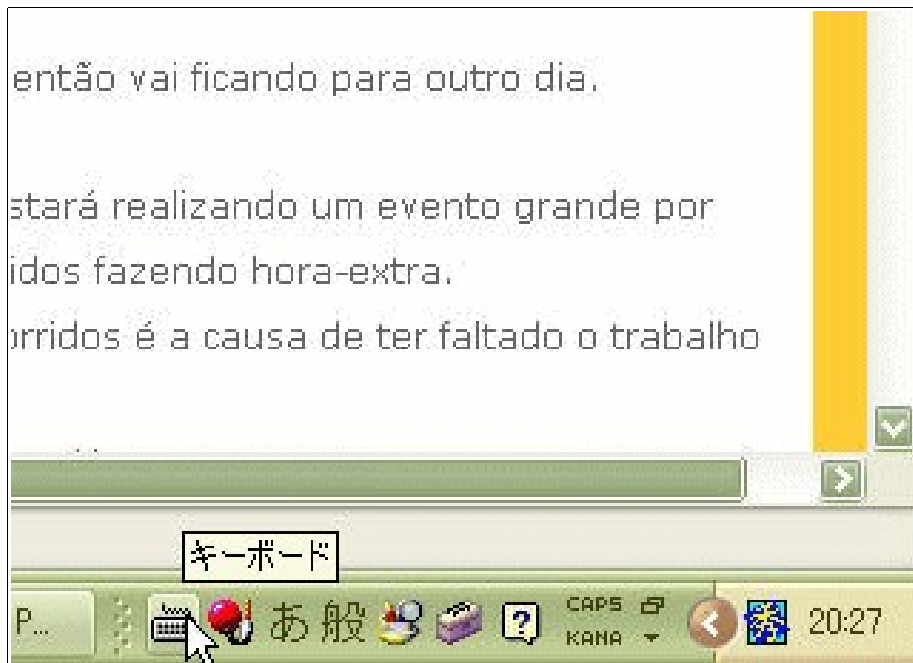
下は Shift キーを押した時。  
 各種記号の位置も日本語キーボードとは随分異なっています。

半角/ 全角	!	@	#	\$	%	¨	&	*	(	)	_	+	未使用	Back Space
Tab	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	`	{	Enter	
Caps Lock	A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ç	^	}		
Shift	Z	X	C	V	B	N	M	<	>	:	?	Shift		

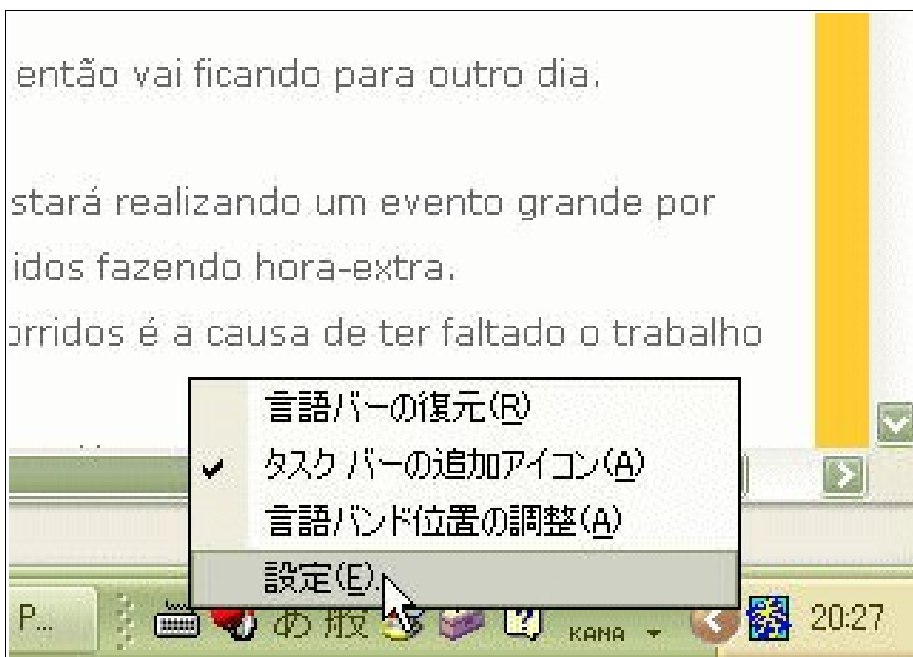
## Windows の IME にポルトガル語を追加する方法

Windows2000/XP、日本語入力システムはIME を例に Windows にポルトガル語のキーボードレイアウトを追加する方法を説明します。

1. IME 言語バーを右クリックします。



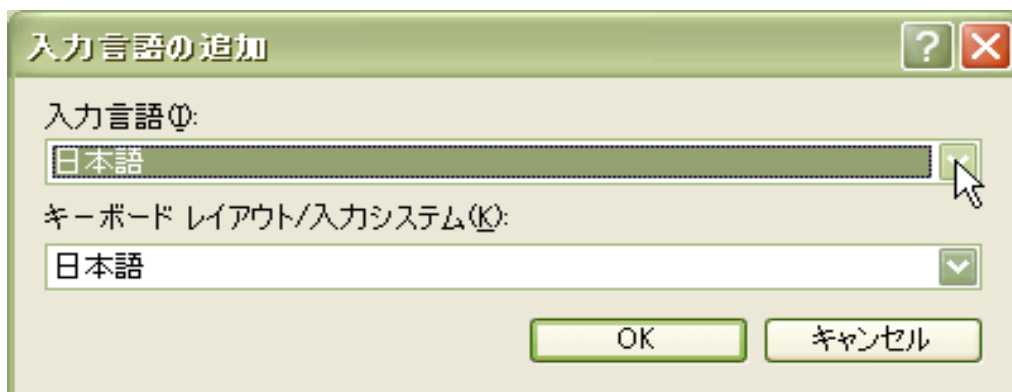
2. すると、このようなメニューが出てきますので、「設定」をクリック。



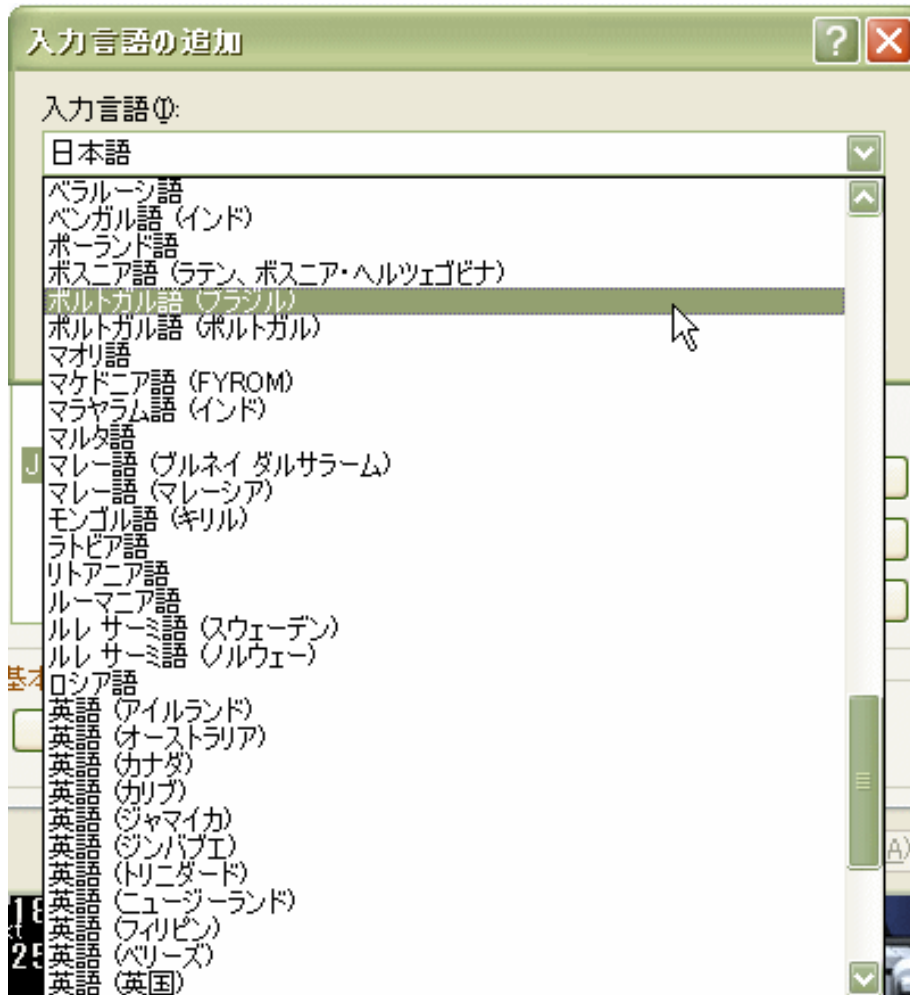
3. 「テキストサービスと入力言語」ダイアログが表示されますので、「追加」ボタンをクリック。



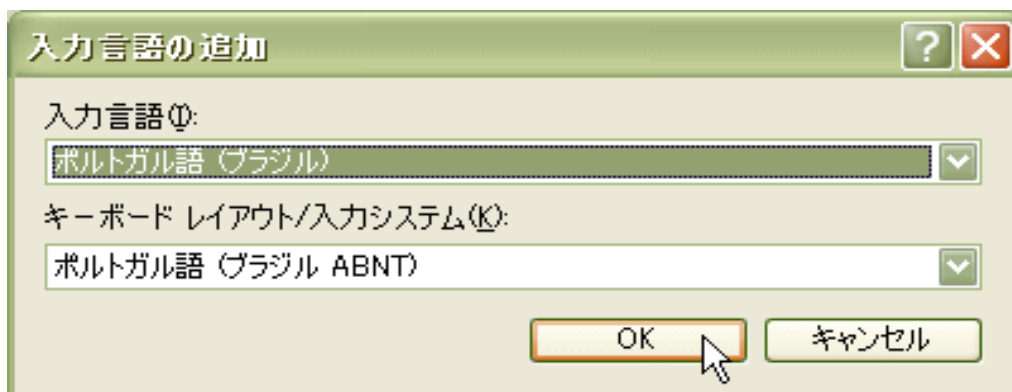
4. 「入力言語の追加」ダイアログがでます。ドロップダウンメニュー「入力言語」の▼を押すと、。



5. イッパイでできます・・・。「ポルトガル語（ブラジル）」を選択します。



6. 「入力言語」を設定すると、自動的に下のリスト「キーボードレイアウト/入力システム」も確定しますので、そのまま「OK」ボタンをクリックします。



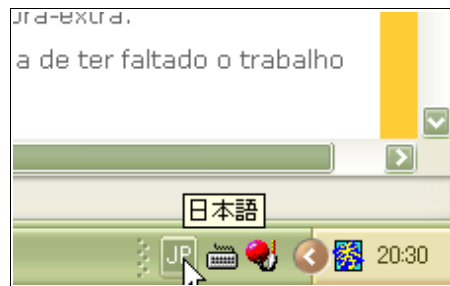
7. "インストールされているサービスの一覧"に、「ポルトガル語（ブラジル）」の言語サービスが追加されています。「OK」ボタンをクリックしダイアログを終了します。これで入力言語の追加は完了です。



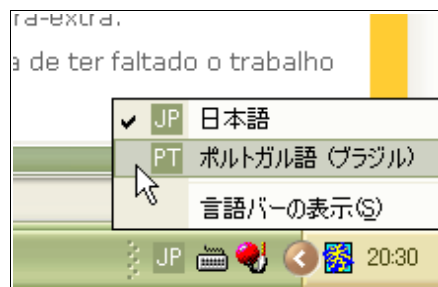
## キーボードレイアウトの切り替え

新たに追加したポルトガル語のキーボードレイアウトと日本語のレイアウトを切り替える方法です。

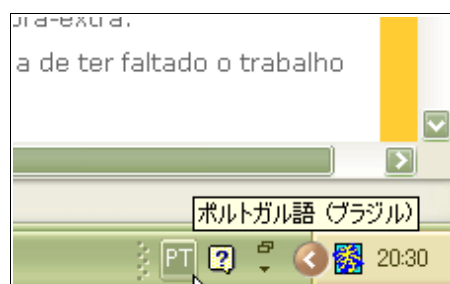
1. 上記の操作が終わると、IME 言語バーのキーボードアイコンの隣に、現在使用中の言語を表示するアイコンが追加されています。



2. このアイコンをクリックすると追加した言語の一覧が表示されますので、「ポルトガル語 (ブラジル)」を選択します。



3. するとアイコンはこのように変化します。日本語に戻す時も同様の操作で切り替えます。



4. キーボードレイアウトの切り替えはショートカットキーを使用することもできます。



キーボードレイアウトに日本語とポルトガル語が入っている場合、「**Alt+Shift**」を押すたびに **JP** と **PT** が切り替わります。

## 序数の入力について

ポルトガル語で使用する序数の記述について補足します。ポルトガル語の序数は以下のように小さい上付きの小文字 a または o を使用します。

「<sup>a</sup>」 「<sup>o</sup>」

除数の使用例)

1<sup>a</sup> 2<sup>a</sup> 3<sup>a</sup> . . . / 1<sup>o</sup> 2<sup>o</sup> 3<sup>o</sup> . . .

また、ポルトガル語の記述ルールでは、上付きの小文字が使用できない場合、通常の a または o の小文字を使用して最後にピリオドを打つことで代替手段としています。

代替記述の使用例)

1a. 2a. 3a. . . . / 1o. 2o. 3o. . . .

この上付き小文字、ポルトガルのポルトガルキーボードレイアウトでは簡単に入力できるのですが、ブラジルポルトガル語キーボードレイアウトではなぜか見つけることが出来ませんでした。

結局、辿り着いたのが IME の日本語入力モードで、「**えー**」または「**おー**」と入力し、変換候補に「**<sup>a</sup> 上付きローマ字女性序数**」または「**<sup>o</sup> 上付きローマ字男性序数**」が出るのでこれを選択します。入力モードを一旦日本語に切り替えなくてはいけないのであまりスマートとはいえませんが、ショートカットキーを併用すればそれほど負担にならないと思います。

MS-Word では「数字→a または o→スペース」で自動的に上付き小文字に変換されます。但し、これは MS-Word 限定なので他のアプリケーションでは使用できません。

ちなみにブラジル在住の友人達に質問したところ、「自分も良く分からないので普通に小文字を使っている」という返事でした。つまり上記の代替手段で済ませているということです。

ただしこの場合、注意しなくてはいけないことがあります。この方法では「<sup>a</sup>」「<sup>o</sup>」は日本語機種依存文字として扱われます。従って日本語とポルトガル語が1つのドキュメントに混在することになりますので、MS-Word、MS-Excel 等のような Unicode(UTF-8)による入出力に対応したアプリケーションの使用が前提になる、ということです。

また、他の機種 (Mac や Linux 等) との間でファイルを交換する際は正常に表示できない可能性があります。こう言ったトラブルが予想される場合は代替手段を使用する方が安全です。

序数の表記では前出の上付き小文字「<sup>a</sup>」「<sup>o</sup>」に下線が入っている場合がありますが、これは使用しているフォントによって表示が異なるため、下線の有無によって意味が変わることはありません。